

に注意して、地層を書き入れる。

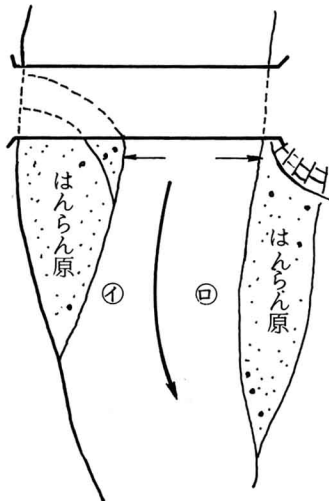
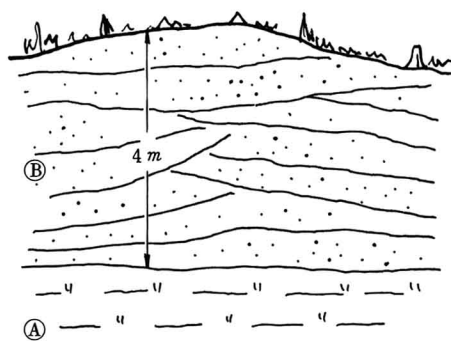
③ この山は、これらの地層が重なってでき上がっていることを理解する。

(3) 地層に近づいて、その特徴を調べる。

④ ④層の地層にさわってみると、泥土のように細かく、サラサラ

した感触を受けます。それは火山灰を含んでいるからで、この地層の岩石は、凝灰岩質泥岩と呼ばれます。

⑤ ⑤層は砂層で、5mm大の花崗岩の風化でできた石英の粒を含んでいます。この地層の特徴は、表面に見られる模様です。このような地層内の模様を斜交葉理といいます。



2. 川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

学校の下差塩川

(2) 土手から水の流れや、はんらん原（小規模）の様子を観察する。

① はんらん原や川原、水の流れなど小川の全景をスケッチする。

② 小川の両岸に、はんらん原（洪水時に水かぶる）⑦層、④層があるが、ど